

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和5年4月

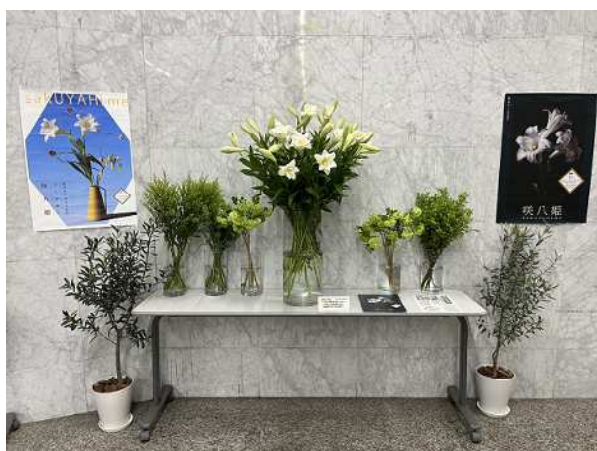
（1）知名町でトランスバーラ植付実演を実施（R5.4.19）

4月19日、大島郡での新たな飼料作物として期待の高い「トランスバーラ」の実証展示ほを、知名町育苗センター農場に設置しました。昨年度の実証試験で定着率の高かった条植え区や、播き苗区、株移植区を設け、その定着率を確認することを目的としています。当日は、知名町の農家にも呼びかけ、植付法の講習会も併せて実施したところ10人の参加があり、「早速植付を実施します」との声も聞かれました。農業普及課は、今後実証展示ほ場を使った現場研修を重ねながらトランスバーラの普及を図っていきます。



（2）えらぶゆり「咲八姫」の出荷が4月中旬から始まる

県が開発したテッポウユリ初の八重品種「咲八姫」の出荷が4月中旬から始まりました。ジャパンフラワーセレクション切り花部門で2022年最優秀賞として選ばれた「咲八姫」は、関係機関・団体と連携して出荷前にチラシ・ポスター・動画の作成、市場のSNS、フェア、テレビの朝の情報番組によるPR等に取り組みながら認知度を高めてきました。出荷本数は昨年度の3倍量の1.2万本以上を目指します。農業普及課は産地拡大のため、引き続き支援を行っていきます。



JR博多駅で展示PR

(3) スプレーマムスマートフラワー規格で3月彼岸出しの実績は好調

令和4年7月からスマートフラワー規格で全量出荷が行われているスプレーマムの3月彼岸出し（2月下旬～3月下旬）は、生育が順調で出荷本数や平均単価は良好でした（出荷本数は前年比52%増、平均単価は前年比14%高）。3月彼岸出しの相対契約率は約15%増加し、実需者のニーズが高まってきています。生産者はこの実績を受け、需要期の安定生産への意欲がさらに高まりました。農業普及課は引き続き生産安定の支援を行います。